

喜多方の清水 復活目指し

## 市内巡りワクワク探検



市内のわき水を巡り現状を調べる参加者

### 枯れた原因を探る

喜多方の清水の復活を「第二回ワークシヨップ」目指す。「きたかた清水の」「きたかた清水ワクワク再生」によるまちづくり」探検は十一日行われ、

市内各地のわき水を巡り、現状を調べた。

同事業は、県が進める「科学的実践課題研究事業」の一環で市民と福島大学などが協力。これまで市内のわき水について調査し、六十八カ所のわき

水が確認できたほか、六十六カ所のわき水跡があることが分かったという。

今回のワークシヨップでは実際に見学し、わき水復活に向けた対策を考えよう」と、実施した。同事業の座長を務める柴崎真明福島大共生システム理工学類教授ら約三十人が参加した。

探検は、市内岩月町の「不動さまの清水」からスタート。「お寺の北清水」や押切川公園西側の水路の清水など、現在も水がわいている清水を見学したほか、枯れてしま

った「カンパク清水」など市の北西から南東にかけての水系を探りながら七カ所を巡った。

見学後は意見交換会を開いた。川をせき止め、水圧を上げて清水を復活させる方法など、再生に向けた可能性が話された。このほか、以前は冬も田んぼに水を張っていたが現在は張らなくなった体験談など、清水が枯れてしまった原因を探る話し合いも行われた。